

項目	項番	要件	重要度
基本要件	1	クラウドサービスかつ対話形式で利用できる文書生成AIシステムであること。	必須
	2	利用者の自由打鍵等によるプロンプトに対し、回答を生成できるものであること。	必須
	3	AIのエンジンがGPT-4.0相当以上であること。	任意
	4	利用料は月額固定料金とし、トークン数があらかじめ定めた利用料の上限を超える場合、何らかの措置を行い、その金額以上の請求がないようにすること。（当初想定しているエンジンの利用上限を超えた場合に別エンジンへ切り替わるなど）	必須
	5	各利用者においてプロンプトテンプレートを作成、登録し、自組織内で共有できること。	任意
	6	画面転送方式でインターネットのWebページの閲覧等ができる業務用端末から、ブラウザを用いて文書生成AIが利用できること（久留米市のネットワーク環境：αモデル）。	必須
	7	LGWAN-ASPとして提供されていること。	任意
認証	8	IDやメールアドレス、パスワードで利用者を識別できる情報で認証できること。	必須
	9	各利用者が任意のパスワードに変更できること。	任意
RAG	10	本市が独自で保有するデータ（例規、各種計画、マニュアル、FAQ等。以下「独自データ」という。）を事前に登録し、文書生成AIにより回答を生成できること。	任意
	11	独自データのファイル形式は、テキストに加え、Word、Excel、PowerPoint、CSV、PDF等も可能であること。	任意
	12	登録した独自データは、論理的又は物理的に他の契約団体と分離されていること	任意
	13	独自データの登録ができる権限をグループごと（総務部門や窓口部門など）又はユーザーごとに設定できること	任意
	14	利用者が入力したプロンプトに対し、文書生成AIが回答を作成するうえで根拠や参考としたデータの名称及び記載箇所を明示できること。	任意
Webページ参照	15	事前にURL（国県ホームページや民間企業ホームページ）を指定し、そのURL先の情報を参照しながら、文書生成AIにより回答を生成できること	任意
文書校正	16	職員が作成した文書データを文書生成AIにアップロードすることで、誤字脱字等をチェックできること	必須
	17	校正ができる文書データのファイル形式は、テキストに加えWord、Excel、PowerPoint等も可能であること。	任意
	18	アップロードした文書データは、論理的又は物理的に他の契約団体と分離されていること。	必須
権限	19	利用者を管理者と一般利用者に分けて権限設定できること。	任意
管理	20	管理者が利用者（一般ユーザー）のすべての権限を有していること。	必須
	21	管理者において利用者IDの登録、変更、削除をできること。	必須
	22	管理者において、利用者（一般ユーザー）が入力したプロンプトデータや文書生成AIが回答したデータを閲覧できること。	必須
	23	各利用者の利用状況又は全体のデータ利用量等の統計情報を取得できること	任意
	24	管理者・利用者共にダッシュボードやポータル画面等でデータ利用量を把握できること	任意
	25	管理者においてプロンプトテンプレートを作成、登録し、組織全体や指定したグループで共有する機能を有していること	任意
セキュリティ	26	ISMS（ISO/IEC 27001）またはISMAPを取得しており、情報セキュリティ対策が確保されていること。	必須
	27	入出力情報が文書生成AIに学習されないとともに、独自データを本市が使用する以外で文書生成AIの学習に利用されないこと。	必須
	28	本市専用の領域を作成し、受注者やサービス開発事業者であっても容易にデータを閲覧できないようにすること。また、他の契約団体と論理的又は物理的に分離された環境を構築すること。	必須
	29	利用者が入力した質問文やプロンプトの中に個人情報と思われるワードが含まれている場合、自動でマスキング処理を行う、入力を防ぐ又は注意喚起を行うなどの機能を有すること。なお、処理の有無や処理を行う項目を設定できること。	任意
	30	サービスを提供する施設等（発注者がアクセスする個別環境）は、日本国内に所在地を置き、必要なセキュリティ及び災害対策等の措置がとられていること。また、文書生成AIのサーバに保存したデータが日本の法律で保護されること。	必須